

搾乳牛における稲WCSの給与実証

要約

搾乳牛に対して稲WCSを9.4～12.5kg/日・頭給与したところ、嗜好性は良好であり、乳量及び乳成分ともに増給前と同様の値を示したことから、稲WCSを多給しても生産性を維持できることが確認された。また、稲WCSの給与割合を高めたことで、1日あたり10円/頭の飼料コスト削減につながった。

○ 展示のねらい

近年の輸入飼料価格の高騰や国際環境の変化に対応するためには、水田を活用した良質な国産飼料の利用拡大により、足腰の強い畜産経営への転換が必要である。そこで、搾乳牛において稲WCSを給与した際の産乳成績及び飼料コストを調査し、高品質な稲WCSの更なる利用拡大を図る。

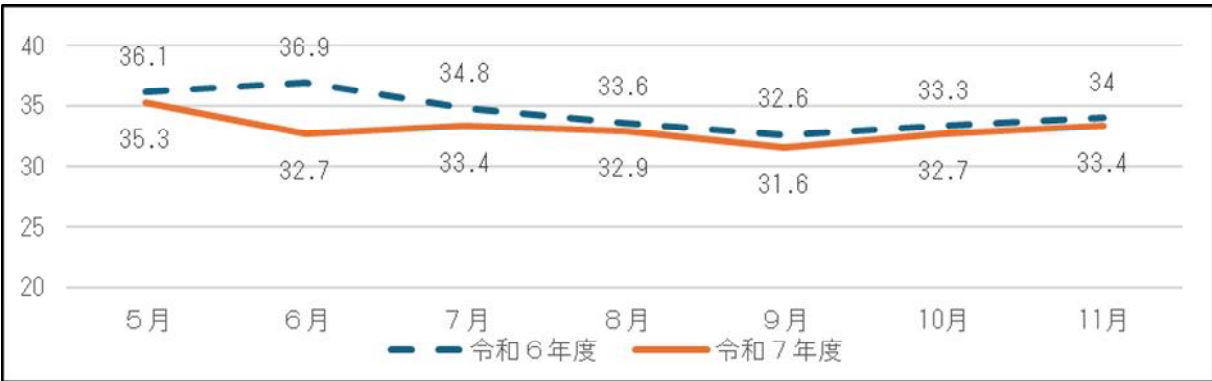
	総給与量 (kg/日・頭)	内稲WCS 給与量 (kg/日・頭)
供試区 (令和 7 年度)	43kg	9.4～12.5kg
対照区 (令和 6 年度)	39kg	5 kg

○ 主な成果

乳量及び乳成分について、対照区（令和 6 年度）と比較して概ね同様の値を示した。また、1日あたりの飼料コストは10円/頭減少した。

【乳量】

(kg/頭・日)



※供試区（令和 7 年度）において 6 月にやや落ち込んだが、これは対照区（令和 6 年度）と比較して平均気温や初産牛割合が高かった影響と推察。

【乳成分等】

(%, mg/dl, mmol/L, 円/頭・日)

試験区	乳脂肪	乳蛋白質	無脂固形分率	MUN	デノボ脂肪酸	プレフォーム脂肪酸	BHB	飼料コスト
供試区	4.06	3.37	8.90	8.3	28.1	35.0	0.06	1,525
対照区	4.03	3.38	8.85	8.7	28.5	34.3	0.05	1,535

※乳成分は調査期間の平均値

○ 今後の方向性

少量からの給与及び適切な飼料設計を指導した上で、稲WCSの利用拡大に向けて普及を図る。

実施機関：塩谷南那須農業振興事務所経営普及部 TEL 0287-43-2318 実施場所：矢板市
問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315